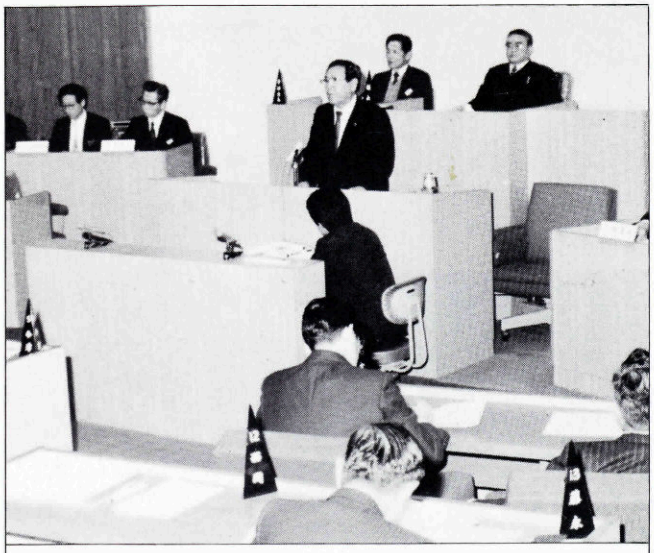
一般会計予算
31億7千7百20万円

豊かな、活力ある油谷町をめざして
昭和六二年度まちづくり予算スタート

昭和六二年第一回定例町議会が三月一二日開会され、昭和六二年度一般会計予算三一億七、七二〇万円、六特別会計予算一八億一、二八七万六千円、水道事業会計予算一億一、一九六万一千円などが審議され、二〇件が可決し、三月二六日閉会しました。



施政方針を述べる今津町長

1. 油谷湾総合開発の推進を……!!

最近の内外の経済情勢は一段と厳しさを加えており、円高不況・貿易不均衡の是正など、私たちの生活に与える影響は誠に大きいものがあります。また、国の行財政改革の推進とともに地方自治体の財政は、年ごとに不安定の度を加えており憂慮に耐えないところであります。

この様な社会経済環境の中で、町勢の振興発展をはかるためには、引き続き行政改革を強力に推進し、財政基盤を確立して、弾力性のある対応力を養うことが肝要であると考えます。

昭和六二年度の予算については、三一億七、七二〇万円——前年に比べわずか〇・四%の増加という超緊縮予算となっています。編成にあたっては「行政改革大綱」に基づき、極力、経常経費の節減に務めながら歳入財源の確保を図りましたが、国の税制改正など、なお不確定な要素も多く、今後の推移を見ながら財源調整を行い、必要な予算補正により積極的に事業を進めてまいります。

町の活性化を促し、「豊かな活力ある油谷町」をつくるためには、何と申しましても「油谷湾総合開発」の実現こそ、緊急の要件であると考えます。しかしながら、現今の経済情勢は誠に不確実なものとなっており、計画の実現も容易な業ではないと考えられますが、関係機関の助言と協力を得て、その実現に渾身(こんしん)の努力を重ねるつもりであります。

今後とも、みなさま方の特別なるご高配と一層のご協力を切にお願い申し上げます。

2. 産業の基盤整備を推進

本町の基幹産業である農業は、貿易自由化の嵐の中で誠に厳しい局面を迎えております。米の生産調整は一段と強化され、六二年度の転作面積は二六六ヘクタール、耕地面積の二二%と決定されておりますが、水田の有効利用と良質米の計画生産を推進しながら、畜産振興を柱として、但馬牛の導入と生産牛の町内保留による増頭を進め、更に、

開発の待たれる油谷湾